

ありのままの姿を受け止めて.. ~今の教育がすべてじゃない!!~

こんにちは！私たちは和歌山大学社会教育・生涯学習ゼミナールに所属する学生です。私たちの世代はゆとり教育とていうものの、塾などで知識偏重の押しつけの教育を受けてきました。その中で日々の学校生活に違和感を覚え、ときには押しつぶされそうになった経験もあります。だからこそこれから子どもを育てていくお母さん、お父さん方、子どもとかかわる先生、将来先生になろうと考えている学生など多くの方々に知識を押し付けるだけの教育とはまた違った、子どものありのままの姿を受け止めるシュタイナー教育の存在について知ってもらいたいと思いました。

日時 2009年3月14日(土) 13:00~16:10 (12:30から受付)

会場 和歌山大学生涯学習教育研究センター (県立図書館東となり)
※上記センター住所: 和歌山市西高松1-7-20, TEL: 073-427-4623

協力 ももの会

定員 100名 (参加費無料)

一時保育あり
定員20名。先着順で受付。
(事前予約が必要です)

※保育申し込み締め切り 3月4日(水)

☆ 参加申し込み・保育申し込み・お問い合わせ先 ☆
~お申し込みは下記連絡先までFAXかE-mailで~

「和の会」学生実行委員会
和歌山大学生涯学習教育研究センター内

FAX: 073-427-7616
(裏面をお使い下さい)

E-mail: wm_project2009@yahoo.co.jp

プログラム

■第1部■ (13:00~14:25)
・学生による講座の趣旨説明

- ・リレー講演
「破たんした学校教育に
振り回される教師、親、子ども」
横川和夫氏
「教育者と子どもの
信頼関係はどのように作るか」
広瀬俊雄氏

・コメント: 広瀬牧子氏

■第2部■ (14:35~16:10)

- ・大学生と本音でトーク♪
〈グループディスカッション〉
・越野章史氏によるまとめ

★ 私たちとシュタイナー教育との出会い

私たちは横川和夫さんの著書「大切な忘れ物～自立への助走～」を読み「シュタイナー教育」という教育の方法を知りました。「他人と違うことをすると白い目で見られるから」と言って個性を抑え、生きている今の日本の子どもたち。そんな日本の今の状況とは異なった、子どもの本性や感性を大切にすシュタイナー教育のドイツでの実践、またその実践が日本でも行われていることを知りました。

シュタイナー教育とは、現在ユネスコにも公認されている国際的にも有名な教育です。この教育は、子どもを生涯の視点でとらえ、発達段階に即した、そして生きる力を伸ばす実にキメの細かい教育です。学校ばかりでなく、家庭の子育てでも応用でき、行き詰った親・教師たちに光と希望を与える導きの星となるのではないのでしょうか。

★ 講師・コーディネーター紹介

横川和夫(よこがわ かずお)

1937年小樽市生まれ。共同通信社会部記者、論説兼編集委員を経て、フリーのジャーナリスト。1972年に文部省を担当し、日本の学校教育の在り方に疑問を抱き、以来教育や子ども、少年事件、家族の問題を中心に取材を続けてきた。浦和の高校先生夫婦が家庭内暴力を振るっていた長男を惨殺した事件を追跡取材した「仮面の家」では1993年度日本新聞協会賞を受賞。著書・共著多数。「もうひとつの道」「大切な忘れもの」で、シュタイナー教育を紹介。

広瀬俊雄(ひろせ としお)

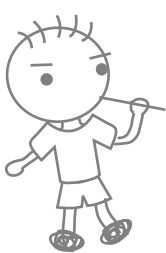
同志社女子大学教授。広島大学名誉教授、東北大学大学院博士課程修了。教育学博士。1990～91年、ウィーンに留学し、シュタイナー幼稚園・学校の研究に従事。主著：「シュタイナーの人間観と教育方法」(ミネルヴァ書房)、「ウィーンの自由な教育」(勁草書房)。「生きる力を育てる」(共同通信社)。目下、楽器作りと合奏による人間教育の研究に力を入れている。

広瀬牧子(ひろせ まきこ)

東京女子大学哲学科卒業。シュタイナー子育て研究者。1990～91年ウィーンシュタイナー幼稚園と学校で実践を学ぶ。現在、全国各地で講演活動を行い、シュタイナー教育の普及に努めている。また、法務省嘱託の少年院篤志面接委員としても活動。主著：「親子で学んだウィーン・シュタイナー学校」(ミネルヴァ書房)、「我が家のシュタイナー教育(正)(続)」(共同通信社)、「気質でわかる子どもの心」(共同通信社)

越野章史(こしの しょうじ)

1966年東京生まれ。教育思想史を専攻。18世紀末のフランス革命や日本の明治初期の教育思想の研究を通して、学校制度の本質へのアプローチを試みている。2003年に和歌山大学教育学部に赴任してからは、思想史研究だけでなく学校現場にも出掛け、主として高校生の公的発言の場をつくり、発言を支える実践にもコミットしている。近代以降学校が維持してきた「学校文化」の批判的なつくり直しが必要、と考えている。現在、和歌山大学准教授。過労死寸前？！



FAX
送信用紙

参加申し込み書

①名前 () ②連絡先 ()

③住所 _____

④一時保育を 希望する・希望しない ※どちらかに丸して下さい。